

# 来週の「売り物」記事はこれ



2011年4月1日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 東日本大震災 暮らしどうなる？ くらしナビA面 連載中

とどまることなく被害が広がり続ける東日本大震災。飲食物や土壌が放射線物質が検出されていますが、人体への影響や発がんリスクはどのようなのでしょうか。過酷な避難所暮らしで各地を転々とする認知症患者や、被災地で置き去りにされたペットの問題なども追いかけます。



## 鎌田實さんエッセー くらしナビA面 9日



諏訪中央病院名誉院長で作家の鎌田實さんによるエッセーを、4月から隔週土曜日に掲載します。がん患者やチェルノブイリの現地住民の支援をしている鎌田さんは、東日本大震災の被災地にも入って活動。温かく力のこもったメッセージをお届けします。

## 傷ついた子どもたちに贈る 童話 くらしナビA面 7日

被災地では、家や家族や友達を失いそれでもたくましく生きる子供たちがいます。遊び道具も教科書も絵本もない避難所で暮らす子供たちも、ほっとできるひと時が大切です。絵本代わりにする一編の童話を、不定期に掲載します。



## — 東日本大震災 —

3月11日の東日本大震災以来、毎日新聞は全力を挙げて震災報道に取り組んでいます。連続的に発生した大地震、津波、原発事故。これまでに経験したことのない大災害で、時々刻々と変化していく状況を取材記者は懸命に追いかけて、情報を発信し続けています。

広域にわたる被災地に素早く駆けつけた記者たちは被災者の窮状を伝え、全国に救援を訴えました。目に見えない放射線の恐怖が列島を覆った原発事故では、「何が起きているのか」を克明にそして正確に伝えようと24時間体制の取材を続けています。

また、被災者を情報で支援する「希望新聞」を立ち上げ、ライフラインの復旧状況▽安否情報▽被災生活Q&A▽大災害の体験者が語る「遠くの被災地より」などを掲載しています。

ほかにも1面から最終面までの紙面を最大限に活用し、震災関連情報を伝えていきます。大災害はいつかまたやって来ます。100年後、あるいは1000年後に生きる人々にも残せる教訓としても「東日本大震災」をしっかりと刻んでいきます。

## 第 69 期名人戦七番勝負第 1 局 7、8 日

羽生善治名人(40)＝写真右＝に森内俊之九段(40)＝同左＝が挑む第 69 期名人戦七番勝負(毎日新聞社、朝日新聞社主催、大和証券グループ協賛)の第 1 局が 7、8 の両日、東京都文京区の椿山荘で行なわれます。羽生名人と森内九段の名人戦は 2008 年以來、3 年ぶり 6 回目。永世名人資格者同士(森内十八世、羽生十九世)として対決するのは初めてです。宿命のライバル対決を制するのは、果たしてどちらか。将棋ファン待望の大勝負が開幕します。



## “走る芸人、寛平ちゃんが見た世界と日本、そして東日本大震災 夕刊特集ワイド面 6 日(水)



「お笑い界の鉄人」の異名を持つ間寛平さん(61)。このほど 2 年余の歳月をかけて、ヨットとマラソンで世界一周を成し遂げました。道のりは平坦ではありませんでした。途中、前立腺がんにかかっていることが判明するなど、さまざまなアクシデントを乗り越えての完走でした。そして、達成感に浸ろうとしていた矢先に、日本列島を襲った東日本大震災——。実は、寛平さんは阪神大震災を体験しています。それだけに、「今回の悲劇は人ごとに思えない」と話します。寛平さんが見て感じた、世界と日本、そして震災の悲劇を思う存分語ります。

“知りたいが分かる、がモットーの「特集ワイド」に、ご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。